

# 事業の概況

## ■国内経済は緩やかな景気回復基調で推移

当連結会計年度(2016年1月1日～2016年12月31日)におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調で推移しましたが、消費マインドに足踏みが見られるなど弱さも見られました。また英国のEU離脱決定や米国大統領選による世界経済や為替相場の先行き不透明感から、企業の業況判断にも慎重さが見られました。

このような経済状況にあって国内企業のIT投資は、堅調な企業業績を背景に慎重ながらも底堅く推移しました。当連結会計年度は、マイナンバー制度の運用開始と個人情報保護法の改正があり、加えてランサムウェアが活発化するなど脅威も続き、セキュリティ対策への関心が高まりました。

## ■地域に密着した営業活動に注力

以上のような環境において当社グループは、「ソリューションでオフィスを元気にし、お客様の信頼に応える」を2016年度のスローガンに掲げ、セキュリティ関連サービスの強化や節電ソリューションに加えて電力コスト削減につながる新電力の取扱いなど、積極的に企業のIT需要の掘り起こしに努めました。また、多店舗・多拠点企業に対しITとネットワークを総合的に支援する取り組みなども成果につながりました。そして、営業活動の活性化を狙いとして、地域に密着した営業活動に注力しました。

また、8月には関西圏を中心とした西日本エリアの物流強化のために西日本物流センターの稼働を開始しました。

堅調な企業業績  
IT投資は底堅く推移

企業のIT需要を掘り起こし  
地域に密着した営業活動

## ■7期連続の増収増益、最高益更新

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、6,434億17百万円（前年同期比5.6%増）となりました。利益につきましては、営業利益396億84百万円（前年同期比6.4%増）、経常利益407億80百万円（前年同期比6.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益266億75百万円（前年同期比12.5%増）と、7期連続の増収増益となりました。

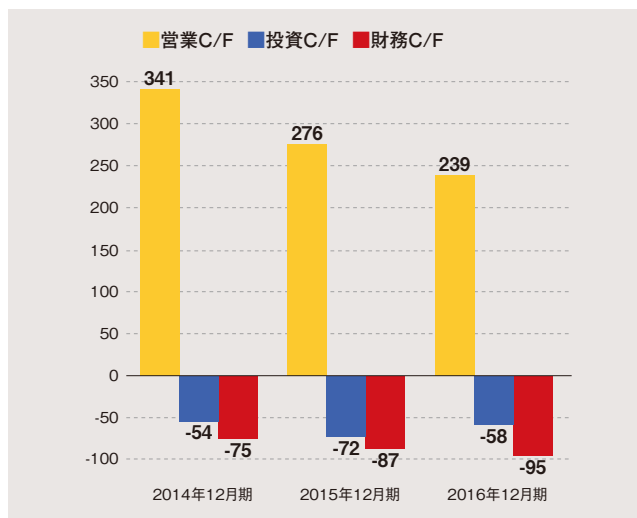
（単位：百万円）

	2015年12月期	2016年12月期	
	金額	金額	増減率
売上高	609,045	<b>643,417</b>	<b>+5.6%</b>
営業利益	37,311	<b>39,684</b>	<b>+6.4%</b>
経常利益	38,240	<b>40,780</b>	<b>+6.6%</b>
純利益*	23,705	<b>26,675</b>	<b>+12.5%</b>

\*親会社株主に帰属する当期純利益

## ■キャッシュ・フローの状況

（単位：億円）



営業活動によるキャッシュ・フローは「仕入債務の増加額」が小さくなったことなどにより、前年同期に比べ36億89百万円減少し、239億32百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは前連結会計年度に「定期預金の預入による支出」があったことなどにより、前年同期に比べ14億12百万円減少し、58億23百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは「配当金の支払額」が増加したことなどにより、前年同期に比べ7億89百万円増加し、95億32百万円となりました。

## 四半期別の概況

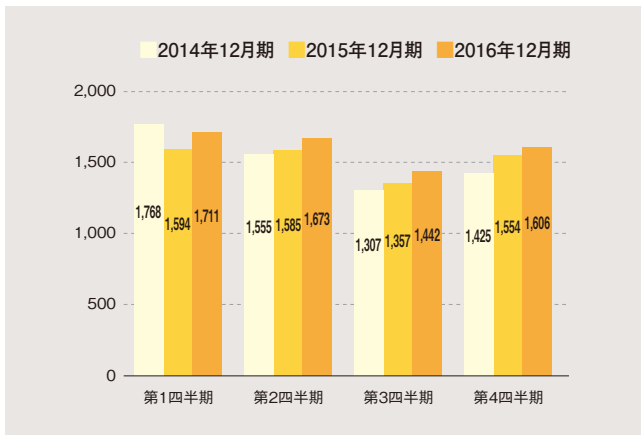
### ■売上高の推移

売上高は、全ての四半期で増収となり、前年第2四半期(4～6月)からの増収トレンドを継続しました。

第1四半期(1～3月)売上高は、1,711億30百万円(前年同期比7.4%増)、第2四半期(4～6月)売上高は、1,673億79百万円(前年同期比5.6%増)、第3四半期(7～9月)売上高は、1,442億34百万円(前年同期比6.3%増)、第4四半期(10～12月)売上高は、1,606億73百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

売上高の四半期推移

(単位：億円)



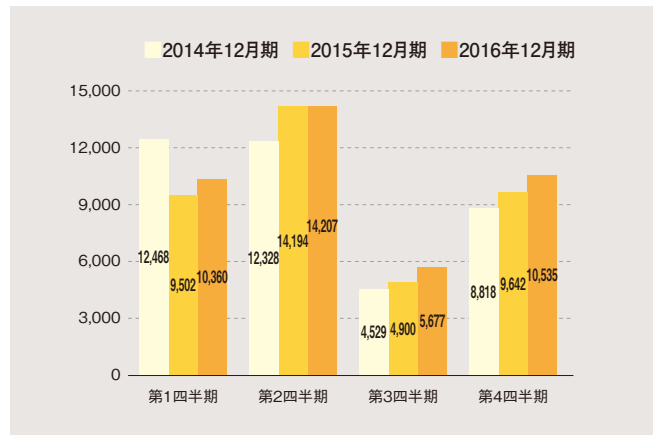
### ■経常利益の推移

経常利益は、第2四半期(4～6月)では微増益となりましたが、第3四半期(7～9月)以降は利益成長が回復しました。

第1四半期(1～3月)経常利益は、103億60百万円(前年同期比9.0%増)、第2四半期(4～6月)経常利益は、142億7百万円(前年同期比0.1%増)、第3四半期(7～9月)経常利益は、56億77百万円(前年同期比15.8%増)、第4四半期(10～12月)経常利益は、105億35百万円(前年同期比9.3%増)となりました。

経常利益の四半期推移

(単位：百万円)



## 事業セグメント別の概況

### ■システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、セキュリティ対策やモバイル端末の需要を喚起するソリューションに力を入れ、複写機・パソコン・セキュリティ関連機器等の販売台数を伸ばし、売上高は3,763億91百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

### ■サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフォンサポート、アウトソーシングサービス等により導入システムや企業活動をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめる」において工具や介護用品などの品揃えを充実させ着実に伸長し、保守等も堅調に推移した結果、売上高は2,666億25百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

### ■その他の事業

その他の事業では、売上高は4億円(前年同期比3.9%増)となりました。

事業セグメント別の売上高推移

(単位：百万円)

